

鹿児島支部では、令和6年9月14日に総会及び懇親会を材料・応用化学科（化学）学科長の深港教授を招き開催しました。会員23名が参加し、まず、数年の間に亡くなられた同窓の方々に対し、黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りしました。

次に、榑木秀人支部長（R5 支部長，土木 S54）の挨拶があり、6月に行われた工業会本部の総会及び懇親会の様子の説明などありました。そのあとに、鹿児島出身でもある深港教授からは、大学の近況等の講演をして戴きました。やはり、TSMCによる地域への多様な効果は絶大で、熊本大学でも、工学部だけでなく大学全体として半導体の関連分野に力を入れているとの紹介や学生の募集案内状況などの説明がありました。

その後、総会に入りました。本年度は役員改選の時期となるため、支部長、副支部長など一部の役員の交代がありました。支部長は、榑木氏から平原浩之氏（環土 S59）に。副支部長は、岩元芳郎氏（土木 S56）から新田福美氏（土木 S60）に交代となりました。平原新支部長からは、来年度の総会出席者が今年度を上回るように、働きかけていきたいと抱負がありました。

会員による特別講演では、鹿児島県道路公社の椎原賢次様（土木 S63）から指宿スカイライン（一部無料区間を含む有料道路）の建設にかかるこれまでの経緯や施設の改築，維持，管理等の紹介等がありました。また、谷山 IC から指宿市方面に向かう一部区間にメロディーロードが設定されており、郷土出身の長渕剛さんの「乾杯」のサビ部分が流れるこの紹介もありました。

総会終了後の懇親会では、各会員の近況報告が恒例行事となっておりますが、会員の中には、自己紹介に出身高校の紹介し、同じ高校の先輩・後輩の繋がりを確認する会員もおりました。また、年に一度の再会の場となる会員もおり、大いに盛り上がりました。

懇親会の終了後、有志による2次会も開催したとろ、深港教授にもお付き合いいただき、会員のカラオケ熱唱などで、更にヒートアップしました。なお、深港教授は、天文館のお店に上着を忘れて帰られるというハプニングもありました。

《報告のわりに》

鹿児島支部は、会員の退会の増加や新規会員の不在などに伴う会員の減少や、事務局の高齢化・後継者の不在など課題がありますが、平原新支部長ほか役員が一丸となって頑張ります。

